

# 第3回子ども・子育て会議における 委員発言概要

令和6年(2024年)11月25日  
健康福祉部



### 第3回子ども・子育て会議委員発言概要（基本的な方針・総論関係）

- 地方での人口減少対策としては、こどもたちの成長の見守りだけでなく、働く場所の創出や定住促進、こども・若者が自分の力を発揮できる体制づくりが必要。
- 国からの財源をしっかりと確保し、1つ1つの政策について具現化していくことが大事。
- 「キラキラ輝く」の意味が具体的に示されていて良い。
- 出産前から小学校までの期間に手厚い支援をすることが、一番効果が大きい。
- 計画を作ったら終わりではなく、様々な機会を捉えて、「こどもまんなか熊本」実現に向けた気運醸成を行うこと、こどもたちに広く自分のこととして考えてもらう機会をつくること、具現化していくことが必要。
- 「全ての県民にとって社会的価値が創造され」の部分は、わかりやすくなるよう工夫するといいい。
- 基本方針の中で、こども・若者、子育て当事者を支える人への支援に触れているのはありがたい。
- 財源の問題で、県内でこども・若者、子育て当事者への支援に格差が生まれないよう、県から市町村への後押しを検討して貰いたい。

### 第3回子ども・子育て会議委員発言概要（各論・その他関係）

- 差別やいじめを受け、大人にも理解してもらえない等、困難を抱えているトランスジェンダーの子ども・若者当事者に目配りできるような文言を追加するとともに、そうした当事者のニーズに応じて貰いたい。
- 切れ目ない乳幼児健診につながるような文言を追加して貰いたい。
- 人口減少地域の保育所への支援にも触れて貰いがたい。
- 親の学びの取組みを継続して貰いたい。
- 子育てへのポジティブな考え方が広がってほしい。
- 本文中で「切れ目のない支援」と「切れ目ない支援」があるので、表現を統一した方が良い。
- 若い子どもに与えるメディアの影響はすごく大きいので、その対応についても検討して貰いたい。
- 子どもに関わる部署がしっかりと協力し、幼保・小・中連携を推進して貰いたい。
- 計画を通して、地域の課題を学校も一緒になって解決していこうという取組みにもつなげて貰いたい。
- アドボケイトのような専門人材を活用する等、いじめや差別を受けて苦しんでいる子ども・若者の権利擁護の仕組みを具体的に検討して貰いたい。